

変形時間労働制は長時間勤務を招くもの！(適正な判断をするべき) (組合)



発行所 三豊教育会館内
三豊教組三豊支部
編集人情宣部
Tel 0875-25-3761
http://www.niji.jp
/home/kazuo-t
/mitoyosibu1

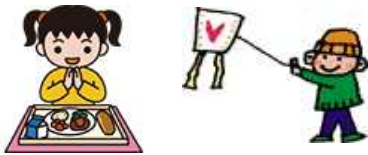
香教組「署名・カンパ」ご協力ありがとうございます。
声を県へ届けます！

三豊支部が西部教育事務所へ要求書提出

教職員の勤務条件を改善するために、下記のとおり要求します。

記

- 1、教職員の生活に見合った賃金を保障すること。
- 2、小中の30人以下学級を早期に実現すること。
- 3、教育困難校加配をさらに拡充すること。
- 4、勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること。
- 5、全児童・生徒対象の「学習状況調査」を今後実施しないこと。「全国学力テスト」を実施しないよう文科省に申し入れること。
- 6、勤務時間を守るよう適切な指導を講じること。また、代休やわりふりについては実質とれるように指導すること。
- 7、小学校の特別クラブ、中学校の部活などの適正化を図ること。
- 8、教職員の信頼の厚い民主的な人を管理職として登用すること。そして、管理職の人権意識を高めるよう指導すること。
- 9、教育事務所訪問をやめること。少なくとも授業参観及び指導は、希望者のみにすること。
- 10、管理職が多忙化を解消し教職員の健康管理に配慮するように指導すること。
- 11、その他



十二月二十五日、香教組三豊支部(石川謹章支部長)は、県教委西部教育事務所(大谷伸一所長)に、教職員の勤務条件改善と多忙化解消のための要求行動をいたしました。詳しくは次のとおりです。

《賃金保障について》

安心して教育活動に専念できるような給与を保障すること！

組合 教員の勤務時間は長くなる一方、実質賃金は段々下がっている。特に中高年の教員にとっては厳しい。安心して働けるような給与を保障して欲しい。また、退職金については、5、6年前と比較すると500万円弱減額されている。これ以上下げないで欲しい。(増やすべき)

《少人数学級について》

必要な所にお金を使い、すべての小中学校で30人以下学級を実現すること！

組合 小中学校では空き時間が少なく、「教材研究の時間が欲しい。」という意見が多い。また、栄養ドリンクを飲んでまで頑張っているという話も聞くが、教員を増やすことが多忙化解消につながる。30人以下学級を国に訴えて欲しい。

《成績主義賃金廃止を》

勤務評定をやめ、成績主義賃金を廃止すること！

組合 どうやって評価しているのか基準が分からない。「遅くまで学校に残って仕事をやっている人がよい評価をもらった。」という事例を聞いた。おかしい。評価の理由付けが難しいと思うが、納得できない。この成績主義賃金制は教育現場にはなじまない。評価基準等が開示請求できないのは全国でも香川県、愛媛県の2県だけであると聞いた。事務所でも調べて検討して欲しい。

《加配の拡充について》

組合 仕事量が多く大変忙しい。小中学校において、教育困難校加配(正規雇用)を更に拡充して欲しい。また、教員定数(特別支援教育も含む)の改善も訴えて欲しい。

《学力テスト等廃止を》

組合 全国学力テストや県学習状況調査は、児童・生徒の学力の状況をみるものである。これまでに傾向は出ているので実施の必要はない。ある学校では管理職に、一つの教科で3回も過去問をさせられ、教科指導の時間が減るの困っている。また、ある学校では、校内研修で分析をやらされ過重負担となっている。管理職が平均点ばかりを気にして、平均点の低い教科の教員に「授業改善をしろ。」などと高圧的な指導をした事例がある。過去問をやらせて、平均点のみで評価することで、本当の学力がつかうと思うのか。デメリットの多い中、お金と労力が無駄である。

《勤務の適正化について》

勤務時間を守るよう適切な指導を講じること！また、代休や割り振りは実質とれるように指導すること！

組合 修学旅行の割り振りなど、きちんと出す学校が増えてきたが、各学校で温度差がある。更に、充実させて欲しい。

「修学旅行等の超過勤務に対する回復措置の要望」に対して、過去に管理職が「特殊勤務手当が出ているから割り振りは出せない。」と言ったケースがあったのだが、特殊勤務手当は、泊を伴うことや勤務が困難であるという勤務の特殊性から手当が出されているものであり超過勤務を保障するものではない。従って、



[石川支部長]



[北岡所長補佐]

組合 改正給特法「変形時間労働制」が参議院本会議で可決したが、教員にはなじまない。学期中が繁忙期だからといって勤務時間を延ばしても結局見積もった時間よりも更に(退庁時間が)遅くなるだけであるし、長期休業中は閑散期であるとしても、学期中の割り振りがきちんと取り切れないぐらい忙しいので、更なる多忙を招くだけである。また、今まで夕

組合 今、学校現場はブラックな職場と言われている。割り振り取得など適正化(充実)すれば、香川県への新採希望者が増える。

《振りを与えるのは当然である。》

組合 ある学校では、2学期に超過勤務した割り振りを冬休みに取り切れないので、管理職に「取り切れない分を」春休みに回して取ってもよいか?と尋ねたが駄目であった。ある学校では、春休みに回してもOKであった。割り振り等が(柔軟性をもって)、きちんと取れるよう充実させて欲しい。

組合 手が出ているから際限なく働かせても良いということではなく、むしろ、超過勤務に対しては回復措置を講じるべきである。また、「公立学校の時間外勤務命令の制限」(給特法、限定4項目)①実習、②学校行事、③教職員会議、④非常災害業務、にあっても「臨時又は緊急にやむを得ない必要がある場合」とされている。修学旅行の時間外勤務については、事前に分かっている計画なのでこれに値しない。つまり、命令できないことをやらせているのだから割り振りを与えるのは当然である。」(昨年度の内容記載)



人権意識の高い民主的管理職を！ 修学旅行などの「割り振り」適正取得を！ 多忙化解消し教職員の健康を守れ！（組合）

方の時間に可能であった「通院」「子どもの迎え・夕食の世話」「親の介護」「体調不良のため帰る」「特に急ぐ仕事がないので帰る」などが、年休を取得しなければならぬ状況になる恐れが出てくる。法制化した次の段階として、県の条例、市町の規則、各学校の運用となるのだが、各段階の適正な判断で食い止めていく必要がある。先ずは、付帯決議（前提条件）を守ることだ。

《特別クラブ・部活動の適正化を》

組合 ある学校では、「次は、あなたが〇〇部の担当ですよ。」などと負担の大きい特別クラブ・部活動（例えばマーチングなど）の担当を希望していないのに命じられて困っているケースがある。勝たなければという負担、保護者からの要望、専門でない部活担当など負担である。また、入部に関して生徒全員入部制の学校もあれば、希望制の学校もある。適正化が図られるようお願いしたい。

《民主的な管理職を》

組合 民主的な管理職登用をお願いしたい。
組合 管理職によるハラスメントの調査を行ったところ、「職務上必要でない。あるいは適切でない仕事を支持された。」「適切でない表現で、支持を受けた。」「私生活について執拗に聞かれた。」「などの声が聞かれた。研修会の折に指導して欲しい。

《学校訪問について》

職場の多忙化を解消するために学校訪問をすべての学校で半日日程にするなど簡素化すること！

組合 授業参観や指導は希望者だけにすること。教科は指定しないこと。学校訪問の内容（日程）は、市町教委の指導の下、各学校で定めることになっている。

組合 ある学校では学校訪問の折、県教委の人が入室したら、全員起立して迎えるなど過度な接待や気遣いをしている。また、参観授業の折、校長が「10人分のイスを出して・・・。」と指示をしてきた。（普通、指導主事一人分のイスでよいか、出さないかである）西部事務所がそのようなことを要求してはいないと思うが、過剰である。やめさせて欲しい。

組合 定年退職後の再任用講師の講師訪問は必要なのか？（ベテランなのに）

組合 「ある学校では、学校訪問時の授業参観後の指導について、50歳代以上は廃止とした。これにより、余分な労力やストレスが軽減された。」（昨年度の内容記載）

《多忙化解消について》

組合 教職員の健康を守るため、勤務時間を守り、多忙化を解消すること！

組合 ある中学校では、定期テストの日程に関して、5回中2回土・日をはさんでいる。また、テスト最終日も3・4時限で授業が終わり、丸付けなどの時間が確保されることができた。

組合 学校事務職員の業務改善についてだが、「共同学校事務室」「事務長制」などの話を聞いたが、多忙化解消に向けて、より一層努力して欲しい。IT関係の予算増よりも、人員を増やすべきだ。
組合 教員未配置問題が県下で

起きている。ある学校では産休代替の教員が中々見つからず、定年退職後の講師や香川大学の学生（3年生2人をボランティアで）に来てもらっている。こんな現状でよいのか？

組合 香川県で日米合同訓練（オスプレイ配備）が実施された。近隣の学校では騒音で一時授業ができないほどだったと聞いた。安全と教育環境を守るよう関係各機関にお願ひして欲しい。

組合 先日、マイナンバーカード取得に関する調査があった。取得させるよう圧力をかけているのではないのか？個人的な問題である。来年度からも新採者に取得を強要することがないよう確認しておく。

これら組合の要求に対して県教委西部教育事務所（北岡所長補佐）は次の様に回答しました。
所長補佐 要求は、各機関に伝えたい。



〔要求する香教組三豊支部〕

教育講演会 三豊の教育をよくする会

12月1日に三豊の教育をよくする会主催で教育講演会（テーマ：みんなの力で、子どもたちの笑顔をと）を開催しました。講師：元日本福祉大学子ども発達学教授 小林信次先生を開演しました。詩を取り入れる工夫を学びました。



教育講演会 三豊教育会館



三豊支部
三豊教育会館大掃除&忘年会&OB会
年の瀬の12月29日に香教組三豊支部では、三豊教育会館の大掃除と忘年会とOBのみなさんと語る会が開催されました。大掃除では一年間の汚れをきれいに掃除しました。忘年会には、様々な話題で盛り上がりました。



三豊支部忘年会 & OB会 三豊教育会館

